

「将来の夢が見つからない？」

将来の夢が見つからないと悩んでいる人はいますか？

具体的な職業名や多くの人が憧れる「大きな夢」でなくても、まずは少し頑張れば手の届きそうな夢を持つことから始めてみよう。1つ夢ができると、そこから派生してまた新たな夢が生まれることもあります。

将来の夢を探すポイントは、自己分析です。まずは自分自身の好きなこと・得意なこと・憧れるものを深堀りしてから、これからの人生どんなことがしたいのかを職業の枠にとらわれず考えてみては？

あなたなら大丈夫！



キャリアセンター長 武貞先生より



チャレンジせよ。失敗＝経験だ。

チャレンジ精神が高い人は、3つの大切なものを持っています。

1つ目は好奇心・探究心が旺盛であること。物事への関心（アンテナ）が高く、「もっと知りたい」「もっと調べたい」と積極的に行動しようとしています。好奇心・探究心は、学力を伸ばす、自分を成長させる上でとても大切なことです。2つ目は、ポジティブ思考であること。自分や周囲のことに対して前向きに考える思考力を持っています。失敗したとしても、「今回は失敗したけれど〇〇を学ぶことができたのでよかった」という考え方です。

3つ目は他者に寛容であること。失敗ではなく、「経験！」という思いを持っているからです。

大学入試へ向かう3年生はチャレンジです。来年4月の華々しい姿をイメージしながら、今、苦しいこの時期を乗り越えてください。とにかく頑張れ！！

生徒の様子（その2） 進路に向けた学習の様子



就職試験の内定状況（試験の結果） R6.10.31時点

10月末時点での内定状況をお知らせします。（50音順）
 (株)アイデック(サービス③) (株)井沢鉄工所(事務①) 栄藤電気(株)(CAD①)
 おかだ歯科(歯科助手①) 春日井製菓(株)(製造①) (株)カネカ(事務①)
 グローリーテクニカルソリューションズ(株)(SE①) (株)ケイテック(SE①)
 ケイ・マック(株)(品質管理①) (株)神戸製鋼所 神戸本社(事務①)
 (株)神戸製鋼所 高砂製作所(製造①) 小林電機(株)(営業①)
 佐和鋳金工業(株)(技術①) 山陽特殊製鋼(株)(技術①)
 三相電機(株)(事務②) 資材調達① 製造②) 三晃商事 祥吉(サービス①)
 ショウワグループ(株)(製品検査①) (株)大和生研(117グループ)(サービス③)
 (株)但馬銀行(総合①) 東芝デバイス&ストレージ(株)(事務① 技術③)
 ホテル日航(株)(総合①) 日新産業(株)(事務①) 日本郵便(株)近畿支社(内勤②)
 パナソニック エレクトロニクス池田電機(株)(製造①)
 ハリマ共和物産(株)(SE①) 播州信用金庫(総合①)
 ヒガシマル食品(株)(製造①) 兵庫信用金庫(業務①、総合①)
 福伸電機(株)(製造①) (株)FUJII TRUST(事務①)
 プライムプラネットエナジー&ソリューションズ(株)(事務①)
 マルイチ(株)(事務①) 三菱電機(株)姫路事務所(製造②)
 三菱電機(株) 高砂製作所(事務①) (株)みなと銀行(事務①)
 明建産業(株)(営業①)



公務員試験の状況（1次試験の結果）

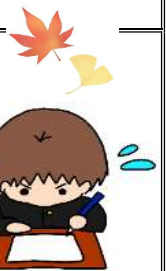
国家公務員税務職	9	兵庫県警察官	4
国家公務員行政職	2	京都府警	1
兵庫県職員一般事務	4	警視庁	1
兵庫県職員教育事務	3	自衛官(一般・航空)	2
兵庫県職員学校事務	3		

今年の公務員試験の受験者は、1次試験に29名の生徒(延べ人数)が合格しています。この調子で、ぜひとも2次試験も突破してほしいですね。エールを送ります。



進路の行事

- 11月
- ・国公立大学推薦入試(3年)
 - ・オープンハイスクール
 - ・日商簿記検定
 - ・ジョブフェア(3年)
 - ・修学旅行(2年)
 - ・全商ビジネス文書検定
 - ・全商計算実務検定
 - ・STEP英語検定
- 12月
- ・キャリアガイダンス(1・2年)
 - ・期末考査(全学年)



生徒の様子（その1） 文化祭・各種交流行事など



編集後記



皆さん、スコーンというお菓子を知っていますか。スコーンはイギリスを代表する伝統的なスイーツであり、その独自の風味と食感が人々を魅了しています。スコーンは、小麦粉、バター、砂糖、卵、ベーキングパウダーなどを主な材料として作られるスイーツで、焼き上げられると、外側はサクサクとした食感に仕上がりますが、内側はふんわりとした食感が特徴です。スコーンは一般的にクロテッドクリームやジャムを添えて楽しめることが多く、英国のアフタヌーンティーやティタイムで愛される代表的な焼き菓子の一つになっています。ところで、スコーンの起源は古く、スコットランドがその発祥地と言われていて、16世紀頃から存在していたとされています。18世紀になると、上流階級の社交場や富裕層の家庭で重要な役割を果たすようになりました。その後、アフタヌーンティーやティタイムの文化がイギリス全体に広まると、スコーンは英国圏で生きる人たちにとって欠かせない存在となり、ティタイムに提供される贅沢なスイーツとして定着するようになりました。今年の秋は、皆さんもスコーンの魅力を存分に味わいながら、英国のティタイム文化に触れてみるのもいいかもしれません。